

第5章 いろいろな備え

1 子どもを守るためにできること

万が一、保護者と離れた場所で子どもが被災した場合のことを考え、家族で対応を決めておきましょう。

保育園・幼稚園・学校にいた場合

大規模地震が発生した場合、学校等は保護者が迎えに来るまで子どもたちの安全を確保します。学校等の対応をあらかじめ確認しておきましょう。

- 学校等の引き渡しルールを確認する
- 誰が迎えに行くのかを家族で決める
- 引き渡し訓練に参加する



鯉浜小学校での
引き渡し訓練の様子

外で遊んでいた場合

親がそばにいないときに子どもたちが地震にあったら、子どもは自分の判断で身を守ることが求められます。子どもたちと災害時の対応について話し合いましょう。

- 友達の家にいたときは、そこに留まる
- 事前に約束した方法で、保護者に安否を報告する
- 遠くにいたら無理に帰宅せずに、迎えを待つ
- 困ったときには大人に助けを求める



自宅で留守番をしていた場合

電車の運行停止等で保護者がすぐに帰宅できなくても安全に過ごせるよう、自宅で一人になったときに備えましょう。

- 備蓄物資の保管場所や使い方等を事前に教えておく
- パパ・ママ友達や隣近所に子どもを預かってもらえるよう、普段からお願いする

▶ 家族の安否確認はP.21へ

2 避難が難しい家族を守るためにできること

高齢や障害等で一人で避難することが困難な家族の避難について備えましょう。

家族内で避難方法を検討

一人では逃げるのが難しい高齢者や障害者が家族の中にいる場合には、家族で協力して避難する方法を考えておくことが大切です。

- 避難するタイミング
- 避難先
- 一緒に避難する家族
- 避難するときに持参するもの
- 移動手段とへ避難ルート



隣近所の方との関係づくり

家族だけでは避難することが困難な場合は、隣近所の方の支援をうけながら避難する必要があります。日頃からの地域との関わりは大事です。

- お互いさまの関係をつくる
- 避難を支援して欲しいことを伝える
- 自分が支援できるときは協力する



3 医療的ケアが必要な家族を守るためにできること

停電や断水、医療機関の被害、物流の寸断等が発生すると、医療的ケアが必要な方々は生命や健康の維持に大きな影響を受ける可能性があります。何に困るのかを考え、備えておきましょう。

- バッテリーや発電機等、医療機器の電源を確保する
- 常備薬等の医薬品や、おむつ等の介護・医療用品は2週間程度多めに備蓄する
- 被災時には、日頃利用している施設がどのような対応になるか確認しておく



4 ペットを守るためにできること

災害時に大切な家族であるペットの命は、飼い主であるあなたにしか守れません。災害時にもペットの面倒を最後までみることは飼い主としての責任です。

発災直後のペットの安全を確保する

大きな地震でペットもパニックになり、いつもと違う行動をとることがあります。ペットを落ち着かせるとともに、逃走やケガにも十分に注意してください。

- ペットを落ち着かせる
- リードやハーネスを付ける
- ケージに入れる

POINT



普段からペットが逃げ込めるスペースを確保しておくことも大切です。安全な室内確保を日頃からしておきましょう。

ペットと在宅避難する

地震のあと自宅が安全であれば、在宅避難をすることになります。ライフラインや物流の途絶に備え、ペットのための備蓄を行いましょう。また、知人や飼い主同士でサポートし合える関係づくりを日頃から心がけましょう。



ペットの迷子対策

災害時にはペットがパニックになって逃走したりする等、離ればなれになってしまうこともあります。迷子になった動物を探すための対策をしておきましょう。

- マイクロチップを装着しておく
- 鑑札を付けておく
- ペットの写真を用意しておく（引き取り時に飼い主であることを示せるよう、自分とペットと一緒に写っている写真があると便利）



品川区災害対策基本条例における努めと責務

災害対策では、自助・共助・公助の連携が重要です。

平素から災害に備えるため、一人ひとりが、「自分の命は自分で守る」という「自助」の意識を持ち、地域の人同士が助け合う「共助」の体制を、行政機関の支援による「公助」のもと、つくっていきましょう。

区民の努め

- 平常時より自ら災害に備える
- 災害時は、自分と家族の安全を確保する
- 地域や身近にいる人同士が助け合い、安全を確保する



防災区民組織の努め

- 平常時より防災訓練を実施し、組織の維持および向上に努める
- 災害時は、事業者等と連携、協力し、地域の応急活動等を行う



事業者の努め

- 管理する施設および設備の安全を確保する
- 従業員、来訪者等の安全を確保する
- 災害時は、防災区民組織等と連携、協力し、地域の応急活動等を行うよう努める

品川区の責務

- 災害対策を的確かつ円滑に実施するとともに、防災体制を整備する
- 平常時より防災関係機関、他の地方公共団体との連携、協力を図る
- 区民、防災区民組織、事業者、ボランティア等との協力体制の構築に努める